

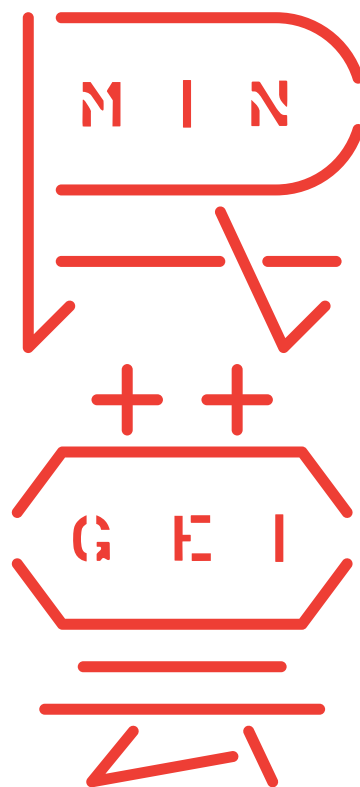
民藝

MINGEI

美は暮らしのなかにある

MINGEI: The Beauty of Everyday Things

2024 7.13(土) - 9.23(月・休)



【開館時間】9:30～18:00(入館は17:30まで) 【休館日】毎週水曜日(ただし8月14日は開館)、7月16日、9月17日

July 13 - September 23, 2024 Opening Hours: 9:30 AM - 6:00 PM (Last admission is 5:30 PM) Exhibition Closed: Every Wednesday(Except August 14), July 16, September 17.

【主催】富山県美術館、北日本新聞社、北日本放送、朝日新聞社、東映 【特別協力】日本民藝館 【協力】静岡市立芹沢銈介美術館、カトーレック 【協賛】立山科学グループ、トヨタモビリティ富山(五十音順) 富山県美術館 〒930-0806 富山市木場町3-20 Tel 076-431-2711 Toyama Prefectural Museum of Art and Design: 3-20 Kiba-machi, Toyama City, Toyama, 930-0806 Tel +81 76 431 2711

【展覧会公式サイト】 <https://mingei-kurashi.exhibit.jp/> 【展覧会公式SNS】 instagram:@mingeiten X:@mingeiten

右上(手前から)染付雨降文猪口 肥前有田(佐賀) 江戸時代 18-19世紀/染付羊歯文湯呑 肥前有田(佐賀) 江戸時代 18-19世紀/染付編蝠文湯呑 肥前有田(佐賀) 江戸時代 18-19世紀 いずれも日本民藝館蔵 Photo:Yuki Ogawa

左下 竹行李 陸中島越(岩手) 1930年代/刺子足袋 羽前庄内(山形) 1940年頃 いずれも日本民藝館蔵 Photo:Yuki Ogawa

民藝 MINGEI 美は暮らしのなかにある

MINGEI: The Beauty of Everyday Things

柳が説いた生活の中の美、民藝とは何か、
そのひろがりと今、そしてこれからの展望する展覧会です。

約100年前に思想家・柳宗悦が説いた民衆的工藝、「民藝」。
日々の生活のなかにある美を慈しみ、素材や作り手に思いを寄せる、
この「民藝」のコンセプトはいま改めて必要とされ、私たちの暮らしに身近なものとなりつつあります。
本展では、民藝について「衣・食・住」をテーマにひも解き、
暮らしで用いられてきた美しい民藝の品々約150件を展示します。
また、いまに続く民藝の産地を訪ね、そこで働く作り手と、受け継がれている手仕事も紹介します。
さらに、一昨年までセレクトショップBEAMSのディレクターとして長く活躍し、
現在の民藝ブームに大きな役割を果たしてきた
テリー・エリス／北村恵子(MOGI Folk Art ディレクター)による、
現代のライフスタイルと民藝を融合したインスタレーションも見どころのひとつです。



2024 7.13(土) - 9.23(月・休)

開館時間 9:30~18:00(入館は17:30まで)

休館日 毎週水曜日(ただし8月14日は開館)、7月16日、9月17日

会場 富山県美術館 展示室2、3、4

観覧料 Fee for special exhibition

一般 Adults	¥1,300(1,000)
大学生 College students	¥650(500)
高校生以下 High school students or younger	無料 Free
一般前売り Advance tickets	¥1,000

※()内は20名以上の団体料金 ()=Fee for group tickets
※企画展入場当日に限りコレクション展もご覧いただけます。
※各種手帳をお持ちの障がい者の方および付添者1名の観覧は無料
※学校観覧、社会教育活動としての児童・生徒の引率者は無料
※「リピーター割」や「クマ割」を実施中。詳細については、ホームページをご覧ください。
○前売り券販売所(会期前日まで販売)＝富山県美術館、富山県水墨美術館、アーツナビ



第I章:1941生活展

— 柳宗悦によるライフスタイル提案

第II章:暮らしのなかの民藝

— 美しいデザイン

第III章:ひろがる民藝

— これまでとこれから

1. 日本民藝館「生活展」会場写真 1941年
2. 燗台 江戸時代 19世紀 日本民藝館蔵
3. 緑黒地掛分皿 因幡牛ノ戸(鳥取) 1931年頃 日本民藝館蔵 Photo:Yuki Ogawa
4. 流水に桜河骨文紅型着物 百里(沖縄) 19-20世紀前半 静岡市立芹沢経介美術館蔵



Event

[トークイベント]

テリー・エリス氏／北村恵子氏
(MOGI Folk Art ディレクター)
×吉田泰樹氏(桂樹舎 代表取締役社長)
日時 2024年7月13日(土) 14:00~15:30
会場 富山県美術館 3階 ホール 聴講自由・参加無料

[講演会]

森谷美保氏(美術史家・本展監修者)
日時 2024年8月4日(日) 14:00~15:30
会場 富山県美術館 3階 ホール 聴講自由・参加無料

[ギャラリートツアー]

本展担当学芸員が見どころについてお話しします。
① 2024年8月24日(土) 14:00~14:30
② 2024年9月7日(土) 14:00~14:30
開始・集合場所 2階 展示室4(本展会場入口内すぐ)
参加自由 ※企画展観覧券が必要です。



(左) MOGI Folk Artディレクターのテリー・エリスと北村恵子 Photo:Yuki Ogawa
(右) 八尾和紙(富山)製作風景 Photo:Yuki Ogawa



Access

- 富山駅北口から…徒歩 約15分／タクシー 約3分／バス1番のりばより乗車「富山県美術館」下車すぐ
- 富山空港から…タクシー・車 約20分(約9km)
- 北陸自動車道から…富山 I.C.から国道41号経由 約15分
※美術館の駐車場(8:00-22:30)は限りがあり、土日祝は混雑が予想されます。
お越しの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。
満車の際は、環水公園立体駐車場など周辺駐車場をご利用ください。



館内ショップ限定販売

宮入圭太 アートサコッシュセット(本展観覧券つき)
販売価格:2,800円(税込) 数量限定
今、注目の染色家／アーティスト・宮入圭太さんの描きおろし作品があしらわれたサコッシュ(斜め掛けの小型バッグ)に、本展観覧券(一般1,300円)1枚がついたセットです。
・画像はイメージです。実際のデザインは若干異なる場合があります。
・本セットは富山県美術館1階ショップでお申し付けください。
・このサコッシュは本セット限定デザインです。同サイズで別デザインのサコッシュを1,800円(税込)でショップにて販売予定です。

ご来館される皆様へ

当館ホームページ、SNS等をご確認の上ご来館されることをお勧めいたします。

次回企画展

「第14回世界ポストトリエンナーレトヤマ 2024」
10月12日(土)~12月15日(日)